

議 会 だ じ り

おさめがわ

No
134

平成25年11月

鯨川中学校 檀の岡祭
ひびけ太鼓の音

9 月 定 例 会

平成24年度決算認定	2
議案調査	4
代表質疑	4～5
補正予算	5～6
村の考えを問う(一般質問)	7～10
7月臨時会、10月臨時会	11
みなさまの声	12

村の財政状況は良好状態を示す



大樂勝弘 村長

9月定例会は、9月17日から20日までの4日間の会期で開かれた。今定例会では、平成24

年度会計の決算認定、平成25年度各会計の補正予算のほか、条例の一部改正及び制定の承認、人事案件など26議案と諮問1件、議員発議による意見書提出3件が審議された。

提出された議案は、全て原案のとおり可決・同意した。また、一般質問では、4名の議員が登壇し、村政全般について質した。

一般会計、歳出決算額
41億4478万円

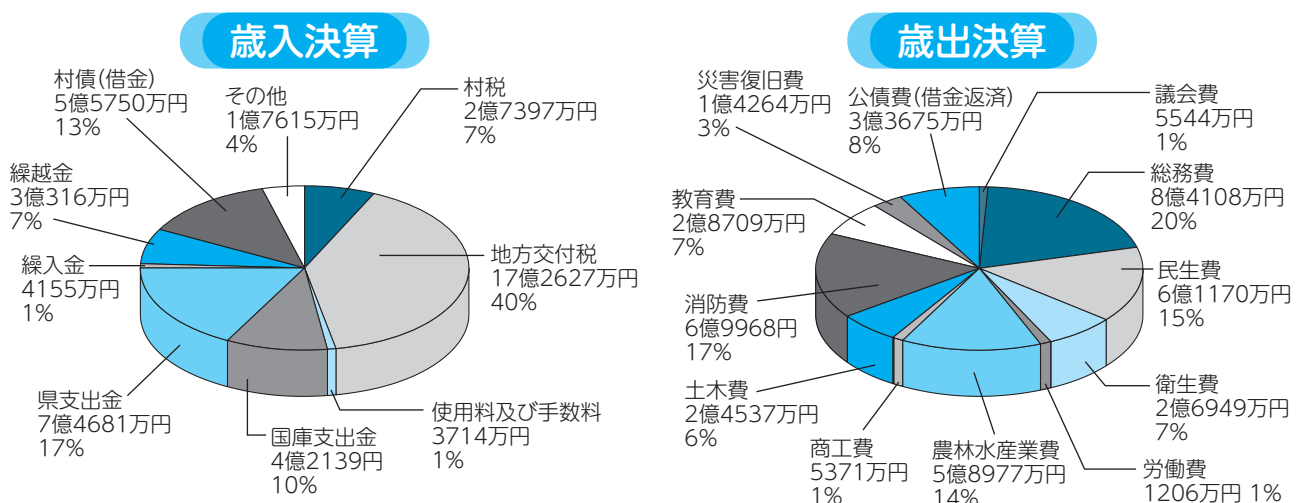
平成24年度の歳出(支出)決算は、一般会計が

■ 会計別決算状況

会計別		歳入総額	歳出総額	差引額	
一般会計		42億8394万4千円	41億4478万円	1億3916万4千円	
特別会計	国保	事業勘定	5億2461万円	5億730万円	1731万円
		直診勘定	7836万2千円	7022万円	814万2千円
	簡易水道	1億584万3千円	1億571万3千円	13万円	
	村営バス	1131万3千円	1052万8千円	78万5千円	
	集落排水	3130万3千円	3004万9千円	125万4千円	
	介護保険	4億2585万2千円	4億1436万1千円	1149万1千円	
	交流施設	1623万6千円	1462万8千円	160万8千円	
	学校給食センター	1億2067万4千円	1億1868万1千円	199万3千円	
	後期高齢者医療	3405万9千円	3390万5千円	15万4千円	
	小計	13億4825万6千円	13億538万5千円	4287万1千円	
決算総額		56億3220万円	54億5016万5千円	1億8203万5千円	

41億4478万円、8つの特別会計の合計額が13億538万5千円で全会計合わせて、54億5016万5千円となった。決算収支の状況では、一般会計で歳入歳出差引額が1億3916万4千円となったが、このうち3316万8千円は翌年度への繰越財源として事業を実施する。

■ 一般会計決算状況



9月定例会

全会計の決算を認定

24年度の主な事業

○県南地域給付金給付事業
2億1285万円

○農林水産業費農用地除染事業
5060万円

○全袋検査推進事業
971万円

○工場用地取得費
2031万円

○定住促進住宅整備事業
1億8570万円

○防災行政デジタル無線整備事業
5億6533万円

○村民運動場夜間照明設備整備事業
1166万円

○屋内多目的スポーツ施設敷地(予定地)購入
785万円

○公営住宅建替え事業(広畑団地・3棟7戸)
9803万円

○図書館災害復旧事業
6083万円

監査委員 決算審査意見書(抜粋)

一般会計では、国及び県補助金を積極的に導入し、自主財源が厳しい中、財源確保に努めている。

村債(借入れ)は、対前年比62.3%の増であったが、後年の償還に地方交付税で補てんされる有利な過疎債など活用している。

義務的経費(家計に例えると家賃、光熱水費、

ローン返済)は、歳出総額に占める割合が33.2%で対前年比10.6%増となった。投資的経費(家計に例えると家や車庫を建てること)は、歳出総額に占める割合が33.4%で、対前年比30.5%増となった。

今後より一層の効率的な予算の執行に留意され、健全財政の運営に徹し、住民福祉向上に

財政健全化判断比率は良好

法律に基づき、市町村では毎年度の決算において、4つの財政健全化判断比率の公表が義務付けられています。

村の決算では、実質赤字比率、連結実質赤字比率ともに黒字決算であり赤字額は発生しません。また、実質公債費比率、将来負担比率は健全化基準を下回り良好な状態を示している。

努めていくことが望まれる。

平成25年9月5日

監査委員 齋藤 實
監査委員 早川 正博



決算審査報告 齋藤實代表監査委員

- 実質赤字比率 一般会計等(普通会計)における赤字額の標準財政規模に対する比率
- 連結実質赤字比率 すべての会計の赤字額の標準財政規模に対する比率
- 実質公債費比率 一般会計等(普通会計)が負担する地方債の償還金の標準財政規模に対する比率
- 将来負担比率 一般会計等(普通会計)が将来負担すべき実質的な負債の標準財政規模に対する比率

資金不足比率

資金不足比率	24年度	23年度	資金不足比率
簡易水道事業特別会計	—	—	20.0%
集落排水事業特別会計	—	—	20.0%

財政健全化判断比率

健全化判断比率	24年度	23年度	健全化基準
実質赤字比率	—	—	15.0%
連結実質赤字比率	—	—	20.0%
実質公債費比率	8.1%	9.3%	25.0%
将来負担比率	—	0.4%	350.0%

議案調査

議会開会中に各常任委員会は、諸議案の内容について調査を行い、詳細について各課長などから聞き取り検討調査した。

産業厚生常任委員会



決算審査調査内容
(主なもの)

- 直売所指定業務 ● エアコン建設工事 ● 乾燥センターシャッター工事 ● 旧泰斗跡地道路拡張工事 ● 大豆振興対策事業費 ● 豊かな土づくりセンター工事 ● 中山間直接支払事業費 ● 国民健康保険特別会計 ● 保健福祉団体補助金 ● 障害者福祉費委託料・扶助費 ● 住民健診業務 ● 障害者自立支援扶助費等 等 災児児童就学援助等

総務文教常任委員会

決算審査調査内容
(主なもの)

- 財産管理費使用料及び賃借料 ● 選挙管理委員会費 ● 庁舎維持管理費 ● 奨学金貸与状況 ● 東日本大震災児童就学援助 ● 交流施設等

補正予算調査内容
(主なもの)

- 買物弱者支援事業補助金 ● 江竜田の滝外案内板

議案調査内容 ● 職員給与の臨時特例に関する条例



代表質疑(要旨)

平成24年度 決算認定について

総務文教常任委員会



蛭田 武彦 議員

借地契約が平成27年3月までとなっており他の借地を含めて可能な限り買収させていくことを基本に取り組んでいきたい。

問 総務費で使用料及び賃借料462万8745円が計上されているが「旧道路管理センターの集石場」につき後世に残さないためにも特例策を講ずるべきと思うが村長の考えを伺う。

答(村長)
村の公共施設を建設する場合、用地は可能な限り買収するように努めているが、「集石場」の

問 教育費で公有財産購入費784万6720円が計上されているが西野区民グラウンド敷地に屋内多目的スポーツ施設計画しているが、体育協会関係、こどもセンター、各学校関係、教育委員会などに検討されたのか伺う。

答(教育長)
体育協会関係、こどもセンター、学校などの協議についてであるが現在、補助事業確保の検討中であり、協議までは至っていない。

問 前田武久議員 関連質疑をする。「西野の用地は西野区民運動場を買収するというだけで決して限定したものではない。議員で検討して見つけてほしい。」と村長は答えているが所信を伺う。

答(村長)
そういう思いで6月の定例会で答えている。

問(再)

6月定例会の一般質問で村当局で地権者に説明できる受け入れ体制を頼んだ。

答(村長)

とにかく皆さんと一緒にテーブルに着きますのでよろしくお願ひしたい。

平成24年度 決算認定について 産業厚生常任委員会



前田 雅秀 議員

問 一般会計の6款農林水産業費、直売所指定管理業務600万円の活用内容と今後の取り組みについて村長の考えを伺う。

答(村長)

加工直売所手まめ館の施設管理と軽微な施設の修繕費の費用であ

る。

直売所手まめ館は、地域産業の振興、生産者の所得向上、村民の雇用などの公共的な役割を担っており、今後必要な支援を続ける。

問(再)

堆肥センターが完成したので直売所の振興公社の設立の時期について伺う。

答(再)

堆肥センターができたから、振興公社の立ち上げにつながるのではなく、経営内容を見ながらと考える。

補正予算

ふくしま森林再生委託業務など

一般会計 1億9341万円を追加可決

平成25年度一般会計の補正予算(第3号)を原案のとおり1億9341万円を追加可決し、歳入歳出とも31億6928万6千円とした。

主な歳入補正

- 地方交付税(震災復興特別交付税) 107万1千円追加

主な歳出補正

- 農林水産業費 1300万円追加
- ・ 農業振興費
- 農林水産業費 1300万円追加
- ・ 農地費農道整備工事測量設計委託業務 700万5千円追加
- ・ 農業総務費ふくしま森林再生委託業務 2648万1千円追加
- 農工費
- ・ 商工業振興費
- ・ 買物弱者支援補助金 470万円追加
- 土木費
- ・ 住宅建設費
- ・ 定住促進住宅建設工事 1500万円追加

補正予算の質疑概要

問 企業支援型地域雇用創出業務555万5千円の内容と、商工業振興費470万円計上の内容について尋ねる。

(星 一彌議員)

答(総務課長)

労働費の委託料55

5万5千円は国庫補助事業で買物弱者支援事業で雇用する店員の給料の支援である。470万円は国庫補助対象外の事業で外壁工事と立ち上げのための資金である。

会計別		補正額	補正後の予算額
一般会計		1億9341万円増	31億6928万6千円
特別会計	国保	事業勘定	2051万1千円増
		直診勘定	751万6千円増
	簡易水道	326万6千円増	1億2530万8千円
	村営バス	78万4千円増	790万7千円
	集落排水	56万4千円増	3111万3千円
	介護保険	1243万6千円増	4億3604万6千円
	交流施設	281万4千円増	1650万4千円
	学校給食	227万5千円増	1億2069万2千円
	後期高齢者	15万3千円増	3472万円
	合計		2億4372万9千円増

問 簡易水道特別会計について水口地区の水不足のための仮設は今後どのような対策をとるのか伺う。

(坂本忠雄 議員)

答(村長) 本格工事を来年度の事業で取り組む考えである。

問 教育費体育施設の委託料、渡瀬村民体育館解体工事設計業務39万6千円の計上であるがこの件に関して渡瀬行政区との話し合いはなされているのか尋ねる。

(山形郁夫 議員)

答(教育長) 予算が認められれば進めていきたい。

報告

▼平成24年度決算に基づく健全化判断比率及び資金不足比率について
地方公共団体の財政の健全化に関する法律により監査委員の意見を付して報告する。

条例の一部改正・制定を可決

▼企業立地促進区域及び避難解除区域等における固定資産税の特例に関する条例

企業立地促進区域において、固定資産税の課税免除をするもの。(5力年間)

▼条例の一部を改正する条例

公的年金等に係る所得に係る特別徴収税額又は仮特別徴収税額の変更があつた場合の取扱について定める。

▼村税特別措置条例の一部を改正する条例

東日本大震災に係る固定資産税の特例を平成26年3月31日まで延長するもの。

▼復興産業集積区域における固定資産税の特例に関する条例の一部を改正する条例

福島県復興再生特別措置法の一部改正に伴う引用条項のずれ部分を改正するもの。

を改正するもの。

▼国民健康保険税条例の一部を改正する条例

地方税法施行令及び地方税法施行規則の改正に伴う改正。

▼職員の給与の臨時特例に関する条例

平成25年10月1日から平成26年3月31日までの間において職員の給与を減ずる措置を講ずる。

▼職員の給与の特例に関する条例の廃止

職員の給与の特例に関する条例を廃止する。

人事案件を同意、答申

▼教育委員会委員の任命に同意

奥貫 洋(再選)
(棚倉町大字棚倉字風呂ヶ沢)

▼人権擁護委員の推薦を答申

佐藤 文夫
(赤坂西野字火打石)

議員発議・意見書の提出を可決

▼森林吸収源対策及び地球温暖化対策に関する地方の財源確保のための意見書の提出

◎意見書は、内閣総理大臣、総務大臣、財務大臣に提出した。

▼道州制導入に断固反対する意見書の提出

◎意見書は、衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、内閣法第9条の第1順位指定大臣(副総理、内閣官房長官、総務大臣、財務大臣、農林水産大臣、環境大臣、経済産業大臣)に提出した。

▼TPP交渉に関する意見書の提出

◎意見書は、衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、内閣官房長官、外務大臣、農林水産大臣、経済産業大臣に提出した。

建設工事調査特別委員会報告 その2

中間報告書を鮫川村に提出

第4回開催 (7月10日)

※図書館担当課長より説明を受ける。
・次回担当職員と同席、関係書類等の提示を求めることを決議。

第5回開催 (8月21日)

※図書館担当課長、担当職員より説明を受ける。
中間報告書作成決議。

中間報告書

- ①担当職員の工事監督の経験不足、研修をさせる。
- ②役場に技術者を配置すること。(二重の監理体制)
- ③施工業者にペナルティーを科すこと。



宗田 雅之 議員

問 雇用の場の確保と公共施設の振興策について伺う

答 地産地消、堆肥生産販売拡大直売機能強化で、雇用拡大を見込む



雇用の拡大が期待される「ゆうきの郷土」

質問

村の振興をはかるためには雇用の場の確保が重要課題である。村の各施設の今後の振興策と雇用増進について伺う。

- ① 手まめ館
- ② ほつとはつす・さめがわ
- ③ 鹿角平クロスカントリーコース
- ④ さざり荘
- ⑤ 土づくりセンター

答弁(村長)

① 地産地消を推進し、農産物直売機能が強化されることで、相乗的に雇用の拡大につなげる。
② リピーターが多く年間千人強の利用客がある。支配人の他調理・

パート3人の雇用で当面対応する。

- ③ 平成24年度は1037名の利用であった。今後は林間コースの整備で利用者数の増加を見込む。さらに合宿の受け入れで雇用を見込む。
- ④ 平成24年度は2万7498名の利用であった。現在は4名の雇用である。
- ⑤ 現在は4名体制となっているが、今後の堆肥生産販売状況を考慮し雇用計画は検討する。

再質問

手まめ館はフレックスタイムを使い終日休みなく営業できないか。また

従業員には今以上に商売のノウハウを勉強していただき、雇用を図るべきと考えるが。

答弁(村長)

職員のリフレッシュ、店内の清掃を考慮すると月1回の定休日は必要である。フレックスタイムを検討し勤務計画を練る。人材育成は大事な課題である。

再質問

クロスカントリーコースの営業力を高めて、「ほつとはつす・さめがわ」までお客を誘致するという関連づけが必要ではないのか。

答弁(村長)

関係者で各大学の合宿に利用していただくような案内と営業をしたところだ。

再質問

土づくりセンターの有機栽培を推進し、有機野菜を使った農家レストランのような特徴のある施設をつくれれば、雇用拡大にも繋がるのではないか。

答弁(村長)

有機野菜を使った料理を手まめ館で提供できれば

ば宣伝効果になると思われる。また新メニューの提案やカローリ制限での健康づくりに必要なことである。

問 埴町木質バイオマス発電と水資源について

答 詳しい計画が発表されれば水資源の検証をする。

質問

木質バイオマス発電が埴町で計画されている。これが実行された場合に水源地の水量に影響を及ぼさないのか。

再質問

村で検査をするのでなく、埴町が調査をすべきであり、覚書を交わすべきではないか。

答弁(村長)

発電施設が建設される場合には、楢木田水源地にどのように影響するかを調査する。

答弁(村長)

水資源環境にいかなる影響があるか見守っていただきたい。

問 村道唐露葉貴線の改良の見通しは

答 費用対効果を精査し早めの改良工事の計画をする。

質問

この路線は7月の大雨で上流からの濁流が近くの人家に迫る勢いであった。住民の安全、安心のためにも早急な対策が必要であるが整備計画について伺う。

答弁(村長)

豪雨時の対策として、水切り箇所を増やし、り、構造物を設置するなど、雨水が完全に路肩に抜ける方法で整備を検討する。

星
一
彌
議員



問

想定外の豪雨対策について伺う

答

警戒を強め、防災情報と瞬時防災システムを活用し、災害をくい止める



想定外の豪雨による浸水状況

質問

本村にとつては山間集落が多く砂質地の地域は予想できない危険が潜んでいる。
村民一人ひとりが自ら守るのは基本であるが、想定外の豪雨対策についての考えを伺う。

答弁(村長)

村はハザードマップを全戸に配布し、危険箇所、

避難場所19箇所を指定している。

また土砂災害の危険度が高まった場合に、適切な状況判断により住民の避難勧告や避難指示を行い、住民の安全を確保する。

再質問

9月15日の対策本部は何時ごろ立ち上げたのか。

答弁(村長)

大雨警報が9時58分に発令され、災害対策本部は12時10分に設置した。

再質問

豪雨時に防災無線を使って「豪雨が予想されまじ」という予報をすべきではなかったのか。

答弁(村長)

雨の判断はむずかしいが、防災無線の使い方を見直し検討する。

再質問

土石流、地すべり、急傾斜崩壊の危険区域の対策をどのような方法で伝達しているのか。

答弁(村長)

地域の指定はしているが、改めて通報とか連絡はしていない。

再質問

ハザードマップの見直しは考えているか。

答弁(村長)

指定以外の危険箇所があれば提案、指示をいただきたい。

問 クロスカントリーコースの利用状況は

学術石川高校陸上部など、年間千人以上が利用している。

質問

地域の活性化としても大きな期待をされており、コースの増設も計画されているが、利用状況と今後の課題について伺う。

答弁(村長)

平成24年度は1037名の利用者数であった。今年度林間コースを整備計画しているために利用者の増加が期待される。今後の課題はトラックの整備である。これは財政事情を考慮し検討を進める。

草退治の考えは。

答弁(村長)

既存のトイレ、シャワー、脱衣所を利用していただくと考えている。平坦なコースの砂利が落ち着いたならチップを敷く。雑草は草刈りで対応する。



利用者増が期待されるクロスカントリーコース

質問

トイレ、シャワー、脱衣所整備についての考えはあるか。またコースに砂利を敷く予定なのか。雑

問 日陰林伐採後の景観維持の考えは

土地所有者に管理はお願いする

質問

日陰林の伐採後の景観を維持すべきと考えるがその対応について伺う。

答弁(村長)

伐採した土地は民有地であり、村が植林や刈り払いをする訳にはいかない。



関根 政雄 議員

問 全国学力テストの結果と村独自の今後の対策について伺う

答 小中とも全国平均を上回る。良いところは伸ばし、反省すべきところは問題解決に取り組む

質問

文部科学省は全国の小、中学校を対象に学力テストを実施したが、本村の児童生徒の成績の結果はどうか。また今後の学力向上に向けての対策について伺う。

答弁(教育長)

小中学校の成績は全国平均を上回っている。対策については家庭の協力を得ながら「当たり前」のことは当たり前でできる「児童生徒を育てるなど、教育環境の土台づくりをしながら、学力の向上を図る。」

再質問

全国の学力で秋田県が3年連続で上位であるが、この結果に関して教育長はどのように認識しているか伺う。

答弁(教育長)

全国学力調査の高い秋田、福井、富山は「教育集団」が育っているのが大きな要因である。本村の先生方とも共同で授業研究を進めている。

再質問

福島県は学力の危機的状況を打開するために市町村と連携するとしてい



村のイベントに参加する中学生

るが、県の指導はどのようなものか。

答弁(教育長)

県教育委員会とは、パートナーシップを結び、一般の先生、教頭、校長、専門的な指導主事の立場で研修会を通して学びあっている。

再質問

秋田県の児童生徒は地域の伝統行事に積極的に参加しているが、村の子供たちの地域行事への参加に対しての認識を尋ねる。

答弁(教育長)

鮫川村は地域行事に参加できる環境にある。地域の方と触れ合う子供たちしよと学校と連絡を密にして取り組んでいる。

問 村内の主軸となる国道の改良の見通しは

答 国道2路線、県道5路線は村民の重要な生活路線。未改良の整備と維持管理を強く県に要望していく

質問

本村の主軸となる国道2路線、県道のうち既に内ヶ竜地内は着工しているが、この路線の他、国道289号、349号の路線替えや難所改良計画について県とのように協議し計画しているのか伺う。

答弁(村長)

勿来浅川線本坂地内は9月に発注、内ヶ竜地内は本格的に工事が始まり完了には3年を要する。国道289号渡瀬の信

再質問

勿来浅川線の西野上地内の急カーブの改良計画は。

答弁(村長)

更に県に要望する。

問 1次産業の振興と担い手育成策は

答 農業の6次化の取り組みで魅力ある産業にすることが担い手育成に繋がる

質問

1次産業の担い手の育成は村の総合的な産業振興に欠かせない施策と考えるが。

答弁(村長)

土づくりセンターを拠

9

※再質問の続き・詳細は会議録にて閲覧できます。

次期第4次振興計画農業の振興策で提案をいた

答弁(村長)

魅力ある農業の基盤作りのために大学との連携で人材育成が必要でないか。

再質問

点として農業の魅力発信し後継者育成に役立た

問

指定されるべき史跡はあるか、また文化財の指定と保存について伺う

答

新たに赤坂館の申請を検討、有形文化財はほぼ保存状態が良好

前田 武久 議員



修復が予定されている有形文化財

質問 村の文化財の指定、保存、活用対策について指定された有形文化財、無形文化財はどこか。また有形文化財については現状を適切に保存し、後世に永く残せる状態にあるのか否か、今後指定されるべき史跡についても伺う。

答弁(教育長)

村の文化財は福島県指定文化財が2件、鮫川村指定文化財が9件であり、内訳と保存状態は次の通りである。また今後指定される文化財として「赤坂館」が検討対象となっている。

- 【県指定重要文化財】**
- ・東光寺の木造薬師如来像(保存良好)、木造金剛力士立像(修復予定)
 - ・西山宝木のイチイ(保存良好)

- 【鮫川村指定文化財】**
- 無形文化財
- ・渡瀬の獅子舞(舞い手の子供が減少、衣装・道具は保存良好)
- 有形文化財
- ・渡瀬村救荒修築記録碑
 - ・西山追分石
 - ・富田越惣太郎就縛の地
 - ・大塩木造楊柳観音菩薩坐像
 - ・西野切石観音
 - ・西山折戸阿弥陀三尊像

- ・富田薬師堂
 - ・渡瀬赤坂家長屋門
- 以上9件とも保存状態は良好である。

再質問

有形文化財の認定者への助成費の運用、状況は。また薬師如来立像の修復方法は。

答弁(教育長)

修復は木質剥離止め(表面にアクリル樹脂の注入)や欠損部分の補強など、2年間にわたり修復する予定であり予算は570万円である。

再質問

修復業者の選定、見積状況について把握されているのか。

答弁(教育長)

県へ修復計画の申請をし承認を得てから業者を選定する。修復費の3分の1は県の助成金を見込んでいます。

文化財への助成金は渡瀬獅子舞に年3万円のみであり、その他はない。

※再質問の続き: 詳細については会議録で閲覧できます。

問 村長部局、教育長部局の職務権限・運用について尋ねる

答 職務権限については地方行政の組織及び運営に関する法律に基づいて執行する

質問

去る7月24日に村民からささやかな願いが教育行政に寄せられた。教育委員会は住民のためとして8月13日のプール開設申請を村長に申し出をしたところ不許可となった。その理由はなにか。

再質問

住民より要望があり、8月13日のプール開設の許可申請を教育委員会が村長に決済を求めたところ許可されなかった。権力集中、内政干渉も甚だしいが村長の所見は。

答弁(村長)

プールは毎年夏休期間中にお盆休みを除き無休で利用者の便宜を図っているため、お盆休みをとってもいいと指示をした。

答弁(村長)

村長が許可をして13、14日を休みにしている。匿名の1名の意見のために左右される行政であってはならない。

要望があれば調査も必要であるし、学校や地域の皆さんの要望を取りまとめながら、来年度以降に繁栄させるのが適正と考える。

※(再質問の続き: 詳細については会議録で閲覧できます)

施設の益休みについては他の公共施設の利用実態を勘案し教育委員会が起案し、村長が決済する。臨時休業は今年も8月13、14日として広報誌とほつ

可決 補正予算を

平成25年第4回臨時会は7月23日開催され、提案された3議案すべて全会一致で可決した。

一般会計(第2号) 補正予算

歳入、歳出とも606万8千円を追加し、予算総額を29億7587万6千円とした。主な補正内容は、
①数地区農道整備事業。
②うまいもの祭りステーションの盛土工事

〈主な歳入補正〉

○国庫補助金、農道整備事業(数地区)
192万5千円追加

〈主な歳出補正〉

○農業費
・農道整備工事測量設計業務 360万円追加
○商工費
・うまいもの祭りステーションの盛土工事
200万円追加

簡易水道事業特別会計(第1号) 補正予算

歳入、歳出とも1028万8千円を追加し、予算総額を1億2204万2千円とした。

〈主な歳入補正〉

○国庫補助金、簡易水道事業費補助金
411万5千円追加

〈主な歳出補正〉

○施設費
・水道未普及地域解消事業費
1028万8千円追加

学校給食センター特別会計(第1号) 補正予算

歳入、歳出とも33万円を追加し、予算総額を1億1841万7千円とした。

〈主な歳入補正〉

○一般会計繰入金
33万円追加

〈主な歳出補正〉

○工事請負費
・トイレ等改修工事
33万円追加

可決 補正予算を

平成25年第6回臨時会は10月25日開催され、提案された2議案すべて全会一致で可決した。

一般会計(第4号) 補正予算

歳入、歳出とも4142万5千円を追加し、予算総額を32億1071万1千円とした。主な補正内容は、
①若野草コミュニティ助成事業補助金
②公共土木施設災害復旧工事

〈主な歳入補正〉

○国庫支出金
・公共土木施設災害復旧事業費負担金
1667万5千円

○県支出金

・農地等災害復旧事業費補助金
200万円

○諸収入

負担金補助及び交付金コミュニティ助成事

業補助金、若野草コミュニティ助成事業補助金
1430万円追加

〈主な歳出補正〉

○企画費

・若野草コミュニティ助成事業補助金
1480万円追加

○災害復旧費

・土木施設災害復旧費
2500万円追加

・農地等災害復旧工事
250万円追加

・鹿角平観光牧場施設災害復旧工事
115万5千円追加

工事請負契約の締結(条件付き一般競争入札)

○契約工事名

定住促進住宅整備事業
伏木田住宅建設工事

○契約額

8599万5千円

○契約の相手

高田工業株式会社
川営業所
所長 角田 安男

議会改革特別委員会 中間報告

住民懇談会、議会ライブ中継は時期尚早
子ども模擬議会の開催、
定数・報酬の審議に着手

政策立案・審議能力の向上を目指して

村民に信頼される身近な議会、開かれた議会を目指して昨年6月定例議会で設置された議会改革特別委員会は改革への検討課題住民アンケートを基に、既に行われた8回の委員会が開催されました。多面からの議論を重ねた結果、議会報告会(村民懇談会)は個々の議員の議会活動に任せ、議会全体としては開催しないと決議しました。また議会ライブ中継は多額な費用がかかることから時期尚早と判断をいたしました。

今後、特別委員会としては「子ども模擬議会」の開催と「定数・報酬」について議論を重ねて決議し、次年度に議会議長に議会改革特別委員会の報告書を提出することとしています。

※議会改革特別委員会はどうなっても傍聴をすることができません。開催日など議会事務局までお問い合わせください。



ふるさと 鮫川への想い シリーズ⑩

故郷を離れていても、新聞やテレビで鮫川村が紹介されると、心が踊り昔の懐かしい想いが脳裏をかすめる。そして老いた両親はいかにと、ふと仕事の手を止める…。

私は鮫川を離れてもはや40年程になるが、今でも新聞で『鮫川』の2文字を探すことがある。最近では鹿角平『うまいもの祭り』の紹介もあったが、ゴルフや野球の記事も目にすることが多い。殆どの記事はいいニュースでいつも在郷の皆さんの頑張りが目につく。

私の生まれは富田で、今でも88歳の両親が2人で生活している。近所の方にお世話になりながらも、元気にやっている様子が改めて感謝している。鮫川が一番好きと言って、福島市には来てくれない。仕事のためと言

い訳しながらも随分と両親には寂しい思いをさせているので、今は罪滅ぼしに兄弟で毎週様子を覗きに行っている。

小学校は富田小学校。1クラス20人程であったが、毎日夕暮れまで校庭で遊んだことをよく覚えている。面倒見の良いあんなちやがいて、夏は川遊び、冬は、ソリやスケートで遊んだことを思い出す。ただし休みとなれば仕事に駆り出され、山の切り出しや、田植えや稲刈りなどの家の手伝いもずいぶんやらされたものであった。今にして思えば、仕事への基礎はあの時に培われたことと思う。中学、高校は、多

感な青春時代を勉強よりも、友達作りで精を出していた。大学へも行ったがバイトと旅行の毎日で終わってしまった。後年反省して福島大学へ入りなおした。

仕事は昭和55年8月、福島でセブンイレブンを開業することができた。現在4店舗のオーナーである。平成23年3月の大震災時には、お客様の「開いてよかった。助かった」の言葉に支えられ、品物不足の中で1日も休むことなくやってきた。福島市は今も線量は高いが、少しでも復興のお役に立てるようにと奮闘している。

家庭は3人の子供にも恵まれ、最近では近くに長男家族もいるので孫守りを楽しんでい

る。また、世間知らずにならな

い為にも、青年会議所、法人会、商工会議所、ロータリークラブ等にも籍を置き、人との出会いを大切にできた。お陰様で、遊んでくれる友達には恵まれている。

故郷を離れて思うことがある。「鮫川の人は個性が強く、物怖じしない奴が多い」などと言われた。どこで証明されているかはともかく、うれしい賛辞として受け止めている。「どんなことにも一生懸命」の鮫川のDNAがあれば、どんな難局も乗り越えていける気がする。

地元に残って活躍している皆様に敬意を表すとともに、更なるご発展をお祈りします。



坂本 和司 さん (福島市在住)

◆ プロフィール

【出身地】 鮫川村富田字反田

【小学校】 富田小学校

【中学校】 鮫川中学校

【高等学校】 棚倉高校

【大 学】 東北福祉大学
福島大学

【勤務先】 有限会社 プロ・セール
代表取締役

【職 業】 コンビニエンスストア

【趣 味】 ゴルフ、旅行

【家 族】 妻、娘



昭和36年の富田小学校入学式

「ご寄稿、ご提言やご感想をお寄せください」

「故郷への想い」への寄稿をお願いできる鮫川村出身の方を募集しています。村外にて活躍している方を是非ご紹介ください。また議会だよりや議会運営に対してのご意見や感想もお寄せください。

議会傍聴について

次回の定例会は12月中旬です。議会傍聴ができますので是非とも傍聴してください。
(詳しくは議会事務局 49-3198まで)

編集後記

収穫の秋を迎え、黄金色に染まる稲穂は秋の恵みの微笑みのように見えます。

今年は何年になく大型の台風が多く各地域に甚大な被害をもたらしています。我が鮫川村も地震と放射能に悩まされていますが、苦しく困難な時こそ村民がひとつになり、互いに支えあいながらこの難局を乗り越えるべく「地域の絆」を深めたいものです。
(編集委員)